

TOPICS

- 天ぷら油でキャンドル作り
- お客様紹介：カサネン工業株式会社
- 第43期事業発展計画発表会
- 今月のプレゼント：鳥根県産アムスメロン

リサイクルって、ステキ！



家庭から持ち寄った天ぷら油を温めています。



キャンドル作りに参加してくれたお友達



みんなで作ったキャンドル

6月23日、智頭町森のようちえん まるとんぼうで、子供たちの歓声でにぎやかに、使用済み天ぷら油を使ったキャンドルづくりが行われました。これは、まるとんぼうの目的である「地域とつながりをもつ」、具体的には、地域の方々の仕事を見たり、触れたりして、どんな人がいて、どんなことを頑張っているのかをみるということで、当社へ要請があって実現したものです。

子供たちは好奇心いっぱい真剣に取り組んでくれました。天ぷら油を温めるといい匂いがします。「唐揚げ、大好きだよ」「ゆうべ、天ぷら食べたよ」と、子供たちの反応は上々です。身近な食材が、ステキなキャンドルに変身していきます。子供たちの真剣な様子に私たちも元気づけられました。

私たちは、地元から出る使用済み潤滑油や使用済み天ぷら油を収集し、リサイクル燃料としてよみがえらせ、地元の企業様に使っていただいています。その社会的な役割を改めて感じる事が出来ました。また、幼少期から、このようなリサイクルの意識を子供たちにもってもらい、将来、おとなになってからも地域の環境に対して関心をもってもらうきっかけを作っていかなければならないと思います。

「色がついて、きれい」と、子供たちの出来上がった時の歓声を聞き、私たちの役割を強く感じました。

このたびのキャンドル作りを通して、資源の浪費をなくすこと、さらに資源の有効利用の考え方を地域にもっと広げていかなければならないと、子供たちから学びました。

(長野)

お客様紹介

カサネン工業株式会社 様

〒693-0011

島根県出雲市大津町633番地

TEL 0853-21-1930

FAX 0853-21-1424

URL <http://www.kasanen.jp>



A重油からSオイルへの燃料転換工事が終わり、機械設備のお祓いと火入れのお祀りが執り行われました。金屋子神社安部宮司を迎え、安全操業と商売繁盛を祈願していただきました。

出雲市と大田市で、貴重な地下資源であるベントナイトの採掘、島根県産ゼオライトの加工など、資源開発から製造、加工、販売までを一貫して行っています。

現在、島根県と岡山県に4つの工場をもち、膨潤度試験や水分チェックなど徹底した品質管理を行って、時代にあったものづくりを目指しています。ベントナイトは、粉状から粒状の製品へと変遷しながら、環境にも配慮しています。

ベントナイトの用途は、農業用、工業用そして土木用があり、農業用としては、水稲用の育苗培土の原料として使われています。また水田の漏水防止や肥持ちが良くなるなどの効果として、JA全農さんの指定土壌改良資材として使われています。工業用としては、製鉄所への鉄の粘結材、建築塗料、溶接棒の被覆材等、その他、土木・ボーリング用の資材として多くの用途向けに全国各地へ納品しています。

「ベントナイトは全国でも群馬、山形、新潟、宮城、そして島根と限られた場所でしか埋蔵及び掘削できない貴重な地下資源です。その貴重な資源で仕事ができている。農業用としては、お米づくりの原点は土づくりからです。島根県には、このような貴重な資源が埋蔵されていることをもっと広くPRしてい

きたい。また、地元の企業様との連携も深めていきたい」と言葉を頂きました。（聞き手長野）



「以前、参加していた異業種交流会でのつながりから、このたびの取引がある。その交流会で教えてもらったことを業務に生かしながら、謙虚な気持ちで取り組んでいきたい」（カサネン工業株石原社長の言葉）（左写真）



火入れが行われ、無事に着火し、勢い良く炎が上がりました。拍手！

カサネン工業様は『地産地消』というキーワードに賛同して頂いて、このたび、Sオイル導入を決断して頂きました。

今後はカサネン工業様にご繁栄されるように、Sオイルを通じていろいろな提案をしていきたいと思えます。

お客様にとって、Sオイルの価値を認めていただけるよう、導入から運転調整、メンテナンスに至るまで責任を持って対応していきます。（木村プロジェクトリーダー）

文中のSオイルとは、山陰興業のリサイクル燃料の商品名です。

第43期事業発展計画発表会の開催

平成27年6月14日(日)、第43期事業発展計画発表会が開催されました。お客様を代表して、島根中央信用金庫 的場理事長から心温まるお言葉を頂きました。また、智頭町 河野神社 河野宮司からは、「半歩下がって」という演題で、ご講演いただき、私たちを激励していただきました。

【決意表明】



握手する宮北社員と山根社長(写真左より)

社員を代表して、エネルギーサポート事業部 宮北社員が決意表明を行いました。

我々は、この決意を強く意識し具体的に行動することで、周りからお客様から素晴らしいといわれる社員と会社になります。そして、明日から、今期の計画を実行し、目標を達成していきます。

【永年勤続表彰】

長年に渡り当社業務に精励し、実績を残してくれました。さらに今後の活躍を期待します。



写真左より15年勤続表彰の岸本課長、10年勤続表彰の小村社員、15年勤続表彰の檀並課長と山根社長。(15年勤続表彰の中村社員は欠席)



的場理事長



河野宮司

【社長賞表彰】



写真左より、社長賞受賞の石橋、野々村、松浦、植尾、福島、鎌田社員

受賞者の活躍を紹介します。

松浦社員：お客様との電話対応で、「このような対応をする業者は他にいない、良く出来た社員さん」とほめられ、さらに契約に繋がりました。

福島社員：防水工事でお客様が大満足され、別途追加工事発生。今まで培った豊富な経験で若手社員育成にも尽力し、技術の伝承がはかられています。

鎌田社員：防水工事でお客様が大満足され、別途追加工事発生。未経験の仕事にも挑戦する姿が若手社員の刺激になり、誇りと自信に繋がっています。

野々村・石橋社員：効率のよい回収でお客様は大満足。先輩の現場知識をもって二人で力を合わせて、売上目標を達成しました。

植尾社員：新設タンク設置工事で、当社が全体の工程管理を行い、安全にかつ工期通り緻密に完工した。当社実績として将来の布石となるとともに売り上げ貢献に繋がりました。

山口統括リーガ-：急激な原油価格下落という異常事態時に適切なお客様対応をした。(当日欠席)



地域を誇りに思う気持ち

周りからお客様から素晴らしいと言われる人と会社になる

社長 山根久志

6月23日智頭町で、まるたんぼうキャンドルづくり体験会を開きました。私たちの目的は、捨てるものでも工夫すれば使えるようになること（リサイクルの考え方）を、子どもたちに知ってもらうことです。

3才から6才までの園児28名と先生5名、合わせて33名。一人ひとりが、各家庭で不要になった食用油を集め、IHヒーターで加熱し、溶かすことから始めました。色を付け、香料と凝固剤などを混ぜ、形に流し込み、ろうそくの芯を固定して出来上がりです。

園児全員が非常に興味をもって作ってくれました。色を決める時の決断の速さ、高温のろうを扱うにも過度な緊張感も、また気後れすることもなく、楽しみながらあっという間に出来上がり。済むとすぐに庭へ出て、自然の中で遊ぶ。

やがて自分がつくったキャンドルを各自が自宅へ持ち帰り、火をつけ、家族皆できれいな明かりを楽しんだ。子供たちからの言葉「色がついていて、きれいだった。楽しかった」をもらえた。

まるたんぼうの教育方針と毎日の山の中での遊びによって、彼たちが学んだ、自分で自分のことを、自分

の責任において決め、自分から行動する。何が危ないかは、ある程度子どもたちが自分で判るようになっていのではないかと。子供たちを信じて任せてきた結果が、子供たちは勿論のこと、周りの親たちの成長をも促されているのではないかと。子供たちの言動から直感的にそんなことを感じました。

改めて西村早栄さんの教育理念と、森のようちえんの運営体制の素晴らしさに感心しました。自分たちを取り巻く自然を、この地域を誇らしく思う気持ちを育てる。誰かから言われたのではなく、自分で考え、自分の責任において行動する。結果この地域の将来をになう子供たちに、自立性、自発性、そして個性が健全に育まれていく。

そこには地域のつながりを大切に思い、このように子供たちを豊かな自然の中で成長させる、人々と家族の温もり。そして周りの自然は、地域の人たちが幾代にもわたって、作り上げてきた田んぼと畑。周囲の山と川。

このような人間本来のあるべき環境で育った人たちが、次のこの地域を支える人材に育っていく。

私はこう考え、こう実行します

【安原】地域の人、お客様、出会う人との縁を大切に、自分に出来る事でお役に立つ。

【河上】設備変更工事を完成させる。

【松下】自ら、山陰・島根を誇らしい気持ちを持ち続ける。

【岸本】お客様の立場にたって考え、行動する。

【榎並】お客様に必要なとじていただけるように営業活動を行います。

【山口】私はもっと自然にふれて生きます。

【大國】発想を豊かにもって挑戦することを忘れない。

【吾郷】自分で考え、自分の責任で行動します。

【木村】安定した製品をつくる。

【木村憲】この地域を誇らしく思う。

【横地】リサイクルの意識を高めます。

【高橋】私は、回収作業の改善を現場に出て見つけます。

【長谷川】地域のつながりを大切にします。

【松本】人とのつながりを大切に、常に自分で考え行動し地域を支える人になります。

【植尾】私の子供にもいろいろな体験をさせていきたい。

【小村】子供に誇れるような人間性を身に着ける。

【恩村】地域やお客様とのつながりを大切にしていきます。

【藤原】お客様に廃油をいっぱい入れていただけるタンクを制作します。

【金森】自分で考え無駄のない行動をとる。

【藤原大】自分自身、少しでも成長し、会社の力になります。

【清水】自分で考え、自分の責任で行動できるように努力します。

【安達】この地域の発展のために、大切なSオイルをお客様に安全にお届けする。

【野々村】お客様の要望に素早く対応する。

【宮北】自分が行っている業務に誇りを持つ。

【石川】自分で考え、自分から行動できるよう心がけます。

【松浦】地域のつながりを大切にします。

【福島】近隣住民に好印象をもていただく、法定速度、構内整頓。

【石橋】子供たちの将来のために、豊かな自然が残るよう努力する。

【中村】現場にて、整理、整頓、清潔、清掃、安全（KY）を徹底し、安全作業ができるように常にチェックして、作業を行います。

【足立】私は、自分で考え、責任ある行動を心掛けます。

【藤田】身近にある自然に触れ、その環境に感謝します。

【鎌田】何事にも、改善改良に向け努力します。

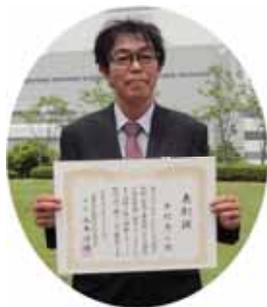
【加藤】日々の業務や使用している設備にリスクはないか、「慣行作業」「気がかり事象」を報告、潜在しているリスクを抽出する。

【長野】周囲の方々に感謝し、自分の責務を遂行していく。

おめでとう

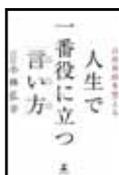
平成27年度危険物保安関係功労者表彰

このたび木村（憲）社員が、島根県危険物保安協会連合会から保安関係功労者として表彰されました。



「この度は、皆様にごのような評価をして頂きありがとうございます。今後も、危険物取扱いを安全に心がけて、日々精進していきたいと思います。」
木村（憲）社員の感謝の言葉

「人生で一番役に立つ言い方」を 読んで 小林弘幸著



「こういうことは自分がすることではない。」というようなことをいう人がいます。それは、自分は先輩だから後輩がやるべきことだという考えからです。

しかし、そういう考え方にとらわれると、その人の成長、器はそこで止まってしまうそうです。小さなプライドを捨てて物事に向かってみると、新たな道が拓けるかもしれません。

会社内では少なからず、周りに迷惑をかけていることがあります。お互いに協力しあうこと、小さなことでも気がついた人がやることで、その会社の「器」も大きくなり、成長できると思います。
(横地)

「お客さまのための改善、改良を続けよう」

今期の基本方針の一つに「皆で考え、改善、改良をする」があります。毎日ほんの少しの改善、改良を積み重ねていくことで、3年後、5年後、10年後には、その時には想像も出来なかった改善に繋がっています。今一度自分の身近な業務から見渡してみても、ほんの些細なことでも変えてみることから始めてみよう。試してみても、もう少し工夫を加えてみる、その繰り返し大きな成果に繋がると思います。

その成果は、自分たちが楽になることが目的ではなく、お客さまにとって役に立つことであり、もっと満足して頂けることでなければなりません。

各部門での業務の違いはありますが、「地域のお客さまのご繁栄に役立つことで、地域社会に貢献します」という当社の理念を実現するために、改善、改良を実行しよう。
(安原)



鳥取営業所・・・
夏支度

昨年、種をまいたプランターからひょうたんが自生し、つるが伸びてきました。ネットに絡んで日よけになりそうです。少しずつ夏支度が進んでいます。雨水をためるしかけもその機能を発揮し、乾季には大いに助かりました。

元氣の出る言葉

中村天風師

人と接するときは明るく、朗らかに、生き生きとして
勇ましい態度で接するように。

現代は、消極的な暗示で充滿している。その消極的な言葉に引っかけられて、
ずるずると消極的な暗示をかけられてしまう。
少しでも消極的なものを感じたら、すぐに排斥し、
自らが、積極的な心でもって、周囲を明るく包み込むような、お日様のような存在でありたい。
(長野)



ハンゲショウ 花期に葉が白くなります。

社長が薦める今月の一冊

挫折力

一流になれる50の思考・行動術
富山和彦著 PHP新書



おもしろい題名なので、思わず買って読みました。

人間は失敗からしか学べない生きもの (P-53)
私は創業すぐに、こんな大失敗をしました。「こんないい商品はない！」と太鼓判を押していただいて、当時売り上げの大きい部分を占めていたお客さまがいました。ところがある日、「もういらぬよ！」と突然宣言された。それからは原料が天を衝くほど滞貨して、資金繰りと置き場に大変困りました。

その時いろいろなことを学びました。まず人の縁の大切さ。難しい融資をいろいろな手立てを考えて、繋いでいただいた金融機関の支店長。新たに保証人になっていただいた人。

全ての煙突を目当てに、一軒一軒需要家を訪ねて、懸命に新しいお客さまを探してくれた社員。

経営を勉強しなさい。師匠を持ちなさいと教えてくれた人。

そのあと勉強会で、ユニ・チャームを興された高原慶一郎会長のお話を、直接聞く機会に恵まれました。以来著書を毎日読んで体に覚えさせています。

テーマは「賢い人ほど失敗する・要領が悪い人でも成功するヒント」 (山根)

編集後記

鳥取県智頭町にみたき園という山菜料理のお店があります。まるで桃源郷のようなその場所は、美しい緑



に囲まれ、小川のせせらぎや小鳥のさえずりを聞きながら、移築された10棟の古民家や庵で食事がいただける場所です。まるで、別世界で、町中の喧騒を離れ、静かなひとときを過ごすことができ、心が洗われるようです。もちろん食事は目にも美しく、大変美味で、地元雇用の従業員の方々がかいかいしくお世話をして下さり、大満足です。先日は、安倍首相夫人の昭恵さんも訪問されたそうです。是非、皆様も行ってください。みたき園連絡先TEL 0858-75-3665

(長野)

「君に成功を贈る」(中村天風)を購入希望の方は、弊社までお知らせ下さい。在庫数が少ないため、出版局から取り寄せてお届けします。

本代は¥1,800+税(税込1,944円)です。

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で3名様に鳥根県産アムスメロンを差し上げます。クイズの締切は7月末です。奮ってご応募下さい。

Q: 松江市で開催される水郷祭はいつから始まったのでしょうか?



先月号の答は、「姫路城、松本城、彦根城、犬山城」でした。

三次市横山様、大田市小谷様、鳥取市岸田様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

蔵書新着状況

・8割の「できない人」が「できる人」に変わる！
行動科学マネジメント入門

石田淳 ダイヤモンド社

・挫折力——一流になれる50の思考・行動術

富山和彦 PHP研究所

・神社に秘められた日本史の謎(歴史新書)

新谷尚紀 洋泉社



発行日: 毎月10日

発行: 690-0025 鳥根県松江市八幡町796-20

TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野

E-mail: h.nagano@e-skk.co.jp

印刷: 授産センターよつば印刷係

ホームページ (<http://www.e-skk.co.jp>)

山陰興業蔵書本をお貸しします

本誌で紹介した蔵書本を、広く皆様にお貸しします。

営業マンや当編集部へ遠慮無くお申し付け下さいませ。